

## Title MF-2200D テーブル水平調整方法

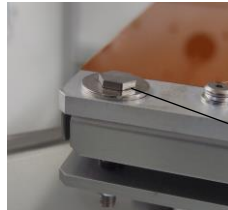
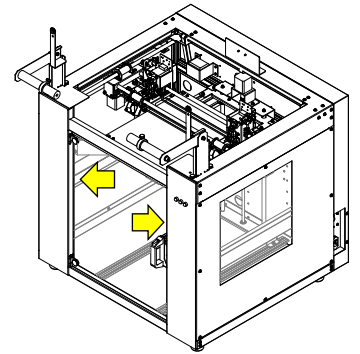
発信日 2016/3/23

No. 33

1/2

MF-2200D でテーブルの水平を調整する方法です。  
 (MF-2500EP、MF-2500EP IIも同様の調整方法です)  
 調整ネジを固定しているナットには緩み止めが付いています。  
 調整前には次のことを確認して下さい。

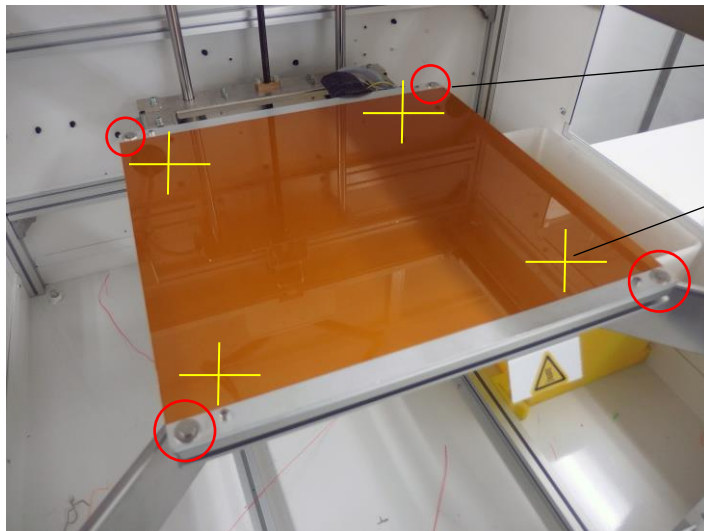
- ・ 扉の両脇裏側右図)にあるワイヤーが、プーリーから外れていないかどうか確認します。外れていると平行が崩れ、また正常に造形できません。
- ・ 一度テーブルを押してみて、調整ネジとの隙間が空いていないかどうか(隙間にゴミなど入っていないかどうか)、確認して下さい。



ゴミなどで隙間があいていないか

## &lt;調整手順&gt;

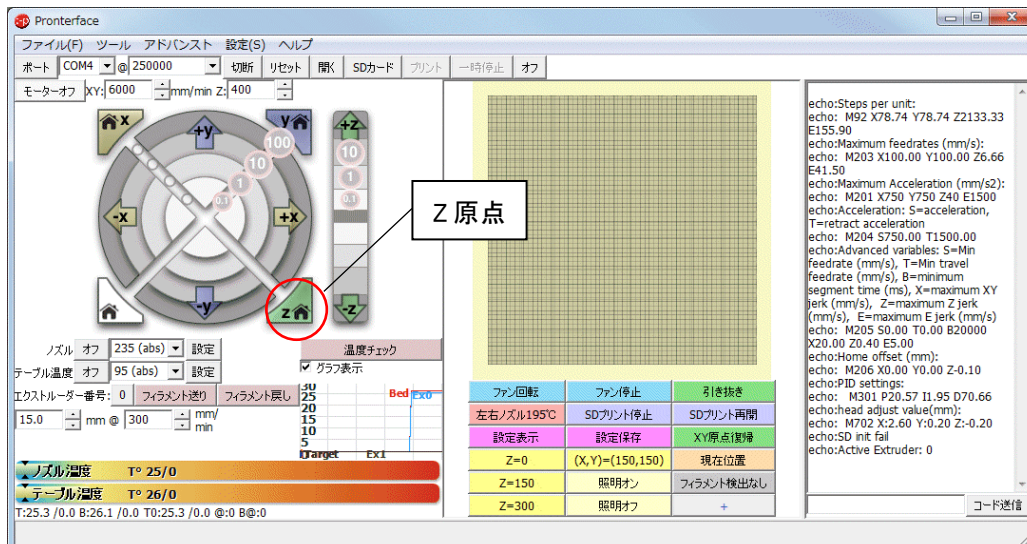
手順としては、ヘッドを一番下まで下ろした時のヘッドとテーブルとの隙間を確認します。隙間ゲージあるいはコピー用紙が何枚入るか等で確認します。ヘッドは4隅近くの位置でそれぞれ一番下まで下ろして確認し、調整はテーブル4隅のネジで行います。



調整ネジ

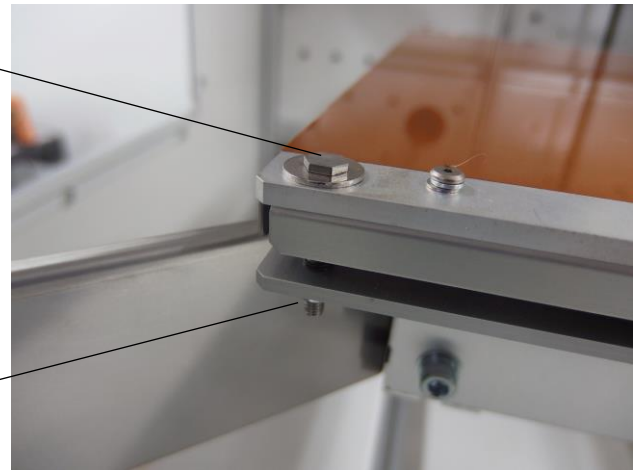
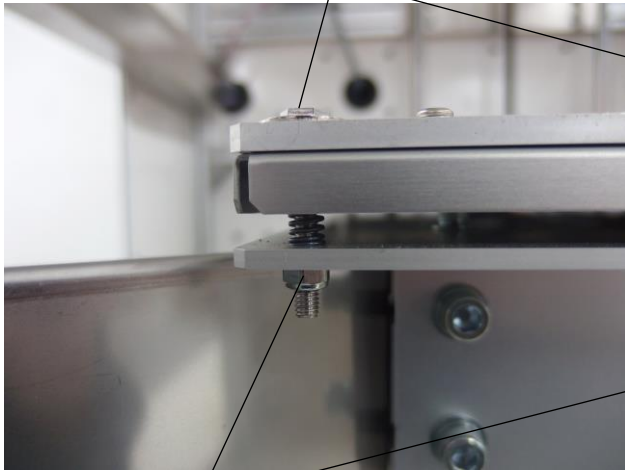
ヘッド高さ確認位置

1. 制御ソフト(Pronteface)でヘッドを XY でそれぞれのヘッド高さ確認位置まで移動させ、そのまま、Z 原点を選びます。ヘッドが一番下がった状態になりますので、そこで高さを確認して下さい。水平(ヘッドの移動面と平行)にするには、どの部分のネジを調整したらいいか把握しておきます。



2. テーブルの水平を調整するため、4隅のネジで高さを調整しますが、下のナットを 7mm のスパナなどで固定し、上のネジも 7mm のスパナで回すと高さが変わります。  
この時、ナットは緩み止めナットとなっておりますので、できれば締めこむ方向だけで調節をお願いします。緩める場合も 1/4 回転など、少ない量で調整して下さい。  
また、この時、ヘッドは上に上げておくか、横にずらしておいて下さい。

7mm のスパナで回して高さ調整



7mm のスパナで回らないように押さえておく

3. 調整をしたら、また4隅の4ヶ所に対しヘッドを下げて、高さを確認します。4ヶ所が同じになるまで調整を行ってください。  
4. 水平の調整後は、Z 軸高さを再度確認して下さい。

以上